

ばらネット・にしお



「男女共同参画」とは、私たちが持っている「男らしさ」、「女らしさ」というイメージや意識、考え方にとらわれず、一人ひとりを平等に扱うという考え方です。

私たちの暮らしの中で、男女共同参画の重要性を皆さまと一緒に考えるために、この情報誌を発行します。

合併後初の男女共同参画プランである「第2次西尾市男女共同参画プラン」が平成26年度からスタートしました。合併から4年、「自然と文化と人々がとけあい 心豊かに暮らせるまち 西尾」の実現のため、市民活動グループばらネットは、地域の多様な主体との連携・協働を図り、西尾市の新たなまちづくりの一端を担う活動として、男女共同参画を推進します。

西尾市男女共同参画情報誌は、市民活動グループばらネットと行政が協働で作成しています。

『第2次西尾市男女共同参画プラン』

西尾市では、性別にかかわらず、男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮し、多様性を認め合える男女共同参画社会を目指して、平成35年度までの計画をまとめた「第2次西尾市男女共同参画プラン」を平成26年3月に策定しました。



※基本理念は、平成15年（2003年）策定のプランを継承しています。

【プランの位置づけ】

- (1) 「男女共同参画社会基本法」第14条第3項に規定されている「市町村男女共同参画計画」として位置づけています
- (2) 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法)第2条の3第3項に規定されている「市町村基本計画」として位置づけています

【西尾市の男女共同参画推進】

策定年	取り組みと体制の変化
平成13年（2001年）5月	西尾市役所男女共同参画推進委員会を設置
平成15年（2003年）3月	西尾市男女共同参画プラン策定
平成15年（2003年）4月	にしお男女共同参画市民会議を設置
平成17年（2003年）2月	市民活動グループばらネット設立
平成21年（2009年）3月	西尾市男女共同参画プラン（見直し版）策定
平成26年（2014年）3月	第2次西尾市男女共同参画プラン策定

第2次西尾市男女共同参画プランのキャッチフレーズ

“男女がともに 心豊かに暮らせるまち にしお”

1. 西尾市における男女共同参画の推進体制をご紹介します

◆ にしお男女共同参画市民会議

にしお男女共同参画市民会議は、平成15年4月に設置され、公募委員・有識者・団体・企業の代表者等で構成されています。会議は、男女共同参画プランの推進や行政の行う各施策について、調査・審議するなど、市民の意見を市政に反映させるための機関となっています。



◆ 西尾市役所男女共同参画推進委員会

西尾市における男女共同参画社会の実現を目的として、総合的かつ効果的な男女共同参画の推進を図るため、市の職員で構成された委員会で、市役所の17課の課長及びワーキングチームスタッフにより構成されています。各課における男女共同参画プランの推進、啓発は、ワーキングチームスタッフを中心に行っています。



「にしお男女共同参画市民会議」の加藤晴子会長に
西尾市の男女共同参画について、お聞きしました。



加藤 晴子会長

Q1 西尾市と関わりを持たれたのはいつ頃ですか？

平成13年に「にしお男女共同参画市民会議 委員」に応募し、就任したことがきっかけです。当時は、教員生活を無事に引退したこともあり、何か勉強したいなあと思っていた時でした。

Q2 委員就任当時の西尾市の男女共同参画の状況は？

国も男女共同参画担当大臣ができ、全国的にも男女共同参画の動きが活発になってきた時期でした。残念ながら当時の西尾市においては、審議会・委員会等における女性の登用率が愛知県下で最下位という残念な位置付けで、「これは何とかしなきゃ」と奮起した時期でした。

Q3 市民会議会長として12年目ですが、今までで一番印象に残っていることは？

やはり、「第1次プラン」「見直しプラン」そして「第2次プラン」の作成に関わらせてもらったことです。何事も新しい取り組みや新しい計画をする時には、エネルギーがみなぎります。私は本当にいい時に、いい仕事をさせていただいたと感謝しております。

また、市民会議では、色々な立場の方々から多様な意見を聞くことができました。中でも、始めは男女共同参画に否定的な意見の委員さんが、会議を重ねて行くうちに理解を深め、共感して頂けたことが強く印象に残っております。

Q4 西尾市の今後の男女共同参画について思うことは？

最近では、育メン、家事メンと言われ男性も積極的に子育てに参加するようになり、10年前と比較すると明らかに変化している面もあります。しかしながら、行政は勿論のこと、PTAを始め、町内会、地域消防団等の長については、依然として男性が多く務めています。やはり、意思決定の場への女性参画が急務です。市の審議会の一つであります「西尾市防災会議」においても、委員数38人中女性は1人です。

防災・減災対策が急がれる昨今において、やはり、女性の視点は外せません。「男性だから」「女性だから」ではなく、同じ人間として、誰もがあらゆる分野で活躍できる社会の実現が必要ではないかと考えます。

2. 市役所職員を対象とした男女共同参画研修会が行われました

目的

男女共同参画を推進する市職員等の意識づくりのため、男女平等意識を育み、また、男女共同参画の視点に立った働きやすい環境と職場の風土づくりを推進するために実施

- ◆日時 平成27年8月27日(木) 午後2時～午後3時30分
- ◆場所 市役所 第51会議室
- ◆講師 愛知県 県民生活部 男女共同参画推進課 課長 服部克巳氏
西尾市 地域振興部 地域支援協働課 主査 木下奈美氏
- ◆参加者 100名

★ 内容

第1部では、「女性が元気に働き続けられる愛知をめざして」と題し、愛知県男女共同参画推進課の服部課長に講義していただきました。

研修では、「女性の活躍推進は、なぜ必要なのか？」について、女性活躍推進が必要とされる背景や女性活躍に向けた国の動き、愛知県の女性をめぐる状況等について学びました。



第2部では、平成26年3月に策定した第2次西尾市男女共同参画プランについて、男女共同参画の概要と西尾市の取り組みを市役所地域支援協働課木下主査が説明しました。

男女共同参画推進は、国の最重要課題であるだけでなく、地域にとっても重要な課題です。社会全体に向けて、男女共同参画への理解を求めていくためには、地域において、男女共同参画の視点を広く浸透させていくことが重要です。



参加した職員からは、「日々の暮らしやすさ、働きやすさを考えるよい機会となりました。」などの声を聞くことができました。

★参加者の感想

男女の役割について、固定された意識を変えていくことの大切さがよくわかった。

【20代男性職員】

自分は、働きながら子育てができる環境であった。女性が活躍し輝く場は、就労だけに限らないと思う。家庭を守っている専業主婦にももう少し光を当てて欲しいと思っています。

【40代女性職員】

女性が働きやすい環境を作っていくことが大切で、就労を支援している保育園としては、この研修を受け、より保育園の役割が重要であると感じた。男女共同参画を意識して生活します。

【50代女性職員】

男女共同参画社会の実現を目指し、推進・啓発活動を行っている 市民活動グループばらネットをご紹介します



市民活動グループばらネットとは?

平成17年2月に設立した団体で、西尾市内で活動する7つの団体と個人会員で構成されています。会員数は、1,200名を超え、月1回の役員会を開き、活動の企画・立案を行っています。主な活動は、行政主催、の会議などへの参画、視察研修会、交流会、意見交換会、

また、子育てや介護、健康、食育などワーク・ライフ・バランスを考える様々なテーマで「ばらネットセミナー」を開催しています。

行政との協働

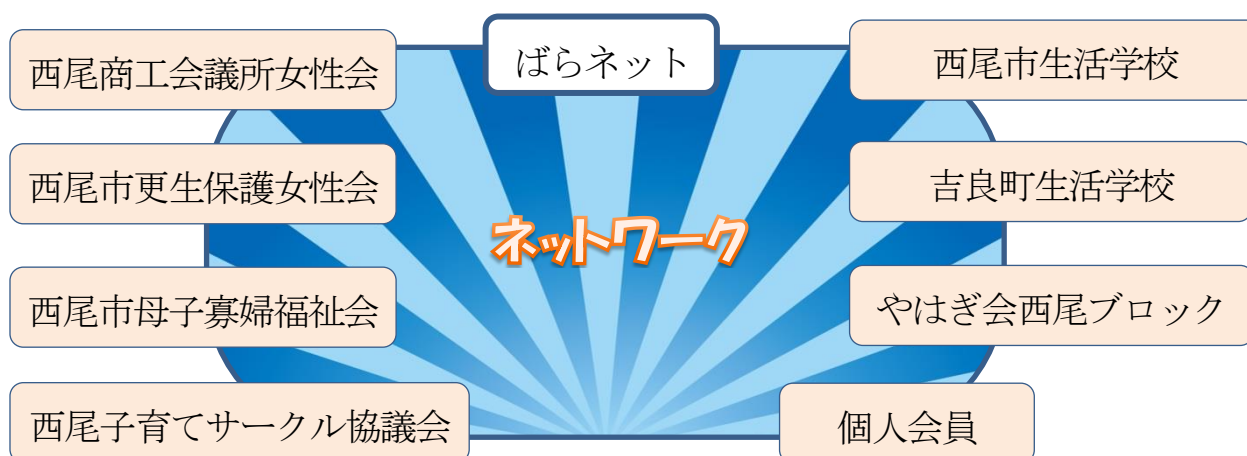
西尾市の男女共同参画社会推進業務は、平成26年度より市民活動グループ「ばらネット」に委託し、行政と協働で事業を進めています。事業内容については、「ばらネットセミナー」の開催はじめ、第2次西尾市男女共同参画プランに沿った事業計画により、広く男女共同参画の推進、啓発を図っています。

ばらネット活動 今後の方向性は・・・

これまで歩んできた10年間は、研修などによる知識の習得や意識啓発を中心に行ってきましたが、地域社会へ広く男女共同参画への理解を浸透させるためには、このような活動だけでは、十分でない状況となっています。

平成27年度の「ばらネット」は、35年度までの計画期間である第2次西尾市男女共同参画プランを加速度的に推進するためにも、地域の多様な主体との連携・協働を図り、より実践的な活動を積極的に行います。

【ばらネット組織図】



***** 平成27年度 ばらネット活動報告 *****

男女共同参画社会の形成を促進していくためには、身近な地域社会における女性の活躍・参画が重要です。そこで、ばらネットでは、男女共同参画の視点に立った地域づくりの中で、市の最重点課題でもある「防災・減災対策」に着目し、前半のセミナーは、災害などから生き延びる方法や災害直後の混乱の中、避難所生活で起こる課題に対し、自分たち一人ひとりに何ができるのかを考えました。

第1回ばらネットセミナー

☆行政との協働事業

- ◆日時 平成27年7月4日(土) 午後2時～午後3時30分
- ◆場所 中央ふれあいセンター 講義室(3階)
- ◆講師 名古屋市港防災センター
顧問・減災アドバイザー 吉村 隆氏
- ◆テーマ 「自分の命は自分で守る」
- ◆参加者 68名



今後、東海地方で起こることが心配されている南海トラフ巨大地震。平成26年5月30日に愛知県が発表した被害予測で、西尾市は特に大きな被害が想定されるとしています。

第1回セミナーでは、火災、地震などによる自然災害から生き延びる方法や防災・減災に向けて自分たちは何ができるのかを学びました。

★内容

- ① 災害時で一番大事なこと
⇒ “自分の命は自分で守る” 自分が死なないこと、そのためにはどうするか？
- ② 火災 ⇒ スプリンクラーの有無、住宅火災報知器の設置、初期消火の重要性、避難方法
- ③ 地震 ⇒ 地震発生時、あなたはどこにいるか？
シェイクアウト訓練 ⇒ 「姿勢を低くする」→「頭を守る」→「そのままじっと耐える」
- ④ 家具転倒防止 ⇒ 家具固定は最優先に確実にを行うこと。「点」ではなく「面」で支える
- ⑤ 津波 ⇒ 自宅・仕事場等の海拔を把握し、周辺の高台や津波避難ビル等を日頃から確認する
- ⑥ 台風・ゲリラ豪雨 ⇒ 浸水、土砂崩れの恐れがある場合は、早めに避難する
- ⑦ 簡単なリラクゼーション ⇒ 「10秒呼吸法」→ 「災害後のストレスへの対応」

★参加者の感想

備蓄用飲料水や非常食の準備、また、家具の転倒防止策など、「今度準備しよう」と後回しにしていた部分が正直ありました。セミナーに参加し、自分の危機管理意識の低さを思い知らされました。

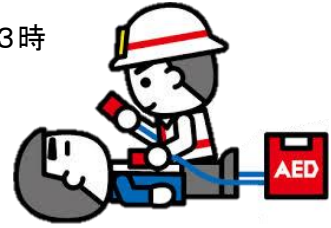
【女性参加者より】

災害時に一番大事なことは、「自分の命は自分で守る」こと。そのためには、自助努力が必要であり、平時から意識を高く生活することの重要性を学びました。家具転倒防止の話では、具体的な事例をたくさん盛り込み、軽快な話しぶりが大変わかりやすく、よかったです。

【男性参加者より】

ばらネット普通救命講習会

- ◆日 時 平成27年7月13日(月) 午後1時30分から午後3時
- ◆場 所 西尾市消防本部
- ◆講 師 西尾市消防署救急担当職員
- ◆参加者 23名



今後、いつ起きてもおかしくない災害に備え、私たち一人ひとりが地域において、男女共同参画の視点を持った防災・減災の担い手となることを目的として実施しました。

★内容

- ① DVD視聴
- ② 被災現場から学ぶこと
 - ・地震の種類、事前に準備できる事は何か
 - ・減災への対策
 - ⇒ 非常食の準備、家具転倒防止策、耐震補強、避難場所の確認、家族の集合場所確認など
 - ・火災の怖さ ⇒ 火災の原因の中でコンロ火災が一番多い ⇒ 炎よりも煙が危険
- ③ 災害時の対応(応急処置の重要性 ⇒ 身近にあるモノを使った応急処置法)
- ④ 救命に必要な応急手当 ⇒ 心肺蘇生法、AEDの使用法など
 - ⇒ 定期的に講習を受けることで多くの命が救われる
- ⑤ 実技演習(効果測定)

★参加者感想

今回受講して、改めて人の命を救う難しさを痛感しました。万が一その場に遭遇しても、ただの傍観者や野次馬にならずに、たとえ自分が救命する立場でなくても協力できる立場の人間になろうと思いました。

心臓マッサージをしている時、最初は深く考えないでやっていたけれど、もし倒れている人が自分の大切な家族や友達だった場合と考え、一生懸命取り組みました。1回の講習での習得は難しいので、機会があれば次回もぜひ参加したいです。



- ◆日時 平成27年9月26日(土) 午後1時30分～午後4時
- ◆場所 矢田ふれあいセンター 多目的ホール
- ◆講師 株式会社 ソーシャル・アクティ 代表取締役 林 加代子 氏
NPO法人 やらまいか人まちサポート 理事長 牧野 明広 氏
- ◆テーマ みんなで取り組む地域の防災
「～楽しく、無理なく、避難所運営ゲーム”HUG(ハグ)“を体験しよう～」
- ◆参加者 46名

HUG(ハグ)は「Hinanjo Unei Game」、避難所運営ゲームの略称で、静岡県が開発したゲームです。台風、豪雨、竜巻、土石流など、日本各地で数多くの自然災害が発生しており、私たちの暮らす西尾市においても、南海トラフ巨大地震など、大規模災害がいつ発生しても不思議ではない状況にあります。

今回のセミナーでは、具体的に避難所生活で起こる課題に対し、地域住民としてどう対応していくのかをワークショップ形式で考えました。

★内容

ばらネットセミナーでは、初のワークショップ形式で、1時間半という短い時間のなかで、災害直後の中、避難所生活で起こる課題に対し、どう対応・対処したらよいか、グループワークを行いました。

単身、乳幼児の母、妊婦、子ども(男の子、女の子、食物アレルギーなど)、高齢者、病気の人、要介護者、障がい者(身体、精神、知的)、外国人など、避難所運営では、多様性の配慮が必要であることが導かれました。

★参加者感想

初めは何を話し合ったらいいのかわからず、戸惑っていましたが、話し合いをリードしてくれる方やカードを配布する人、カードを適所に置く人が自然と決まり、グループみんなが課題に対して真剣に取り組む姿が印象的でした。

テーマ毎に意見を出し合った後は、グループごとに「多様性3か条」の発表を行いました。それぞれのグループが真剣に考えたことが伺える素晴らしい意見でした。



ばらネット個人会員の紹介



高原 陽子さん

★私がばらネットに加入しようと思ったのは、今年の2月に開催された「西尾市男女共同参画推進大会」に参加したことがきっかけでした。グループのことは以前から広報で知っており、特に、セミナーのテーマが、子育て、介護、健康、食育などを考える内容でとても興味を持っていました。

★7月3日に開催された「ばらネット普通救命講習会」に早速参加させていただきました。災害関係の貴重なお話や、個人ではなかなか受講できないAEDの使用法も体験することができ、参考になりました。

◆今後のばらネット活動◆

◆個人会員とばらネット役員との交流会 平成27年11月28日(土)

◆第3回ばらネットセミナー 平成27年12月10日(木)

テーマ：“消費者トラブルにあったら・・・あなたは、その時どうしますか”

◆岡崎市すいか隊との交流会 平成28年1月19日(火)

◆第4回ばらネットセミナー 平成28年2月(予定)

◆ばらネット総会&記念公演会 平成28年3月5日(土)



**※ただ今、ばらネット会員募集中！
私たちと一緒に活動してみませんか？**

編集後記

市民活動グループばらネットは、昨年度、設立10周年を迎えました。これもひとえに皆さまの暖かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。これまでの歩みを絶やすこと無く、行政との協働により地域に根ざした活動を続けて参ります。この情報誌が、男女共同参画の理解への架け橋となり、あらゆる分野で男性も女性も活躍できる今後の展望の参考になれば幸いです。

あなたの声をお聞かせください！

男女共同参画だよりは、男女共同参画の推進を目的に編集しています。「こんなテーマの話が聞きたい」など、皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしています。

【編集・発行・問い合わせ】

西尾市役所 地域振興部 地域支援協働課
〒445-8501 西尾市寄住町下田 22 番地
TEL : 0563-65-2178 FAX : 0563-57-1314
Mail : Kyoudou@city.nishio.lg.jp
編集協力者/市民活動グループばらネット

手島とし子、松崎幸子、浅岡 忍、倉谷厚子